

国家的に重要な研究開発の事後評価における
評価スケジュールの変更について(案)
～日本海溝海底地震津波観測網の整備
及び緊急津波速報(仮称)に係るシステム開発～

平成28年7月27日
評価専門調査会

1. 事後評価スケジュールの変更の経緯

本プロジェクトは、東北地方沖にケーブル式観測網(地震計・水圧計)を整備するとともに、これを活用した高精度な津波即時予測システム(緊急津波速報(仮称))を開発するものとして、防災科学技術研究所を事業実施主体として平成23年度から開始されたプロジェクトである。

本プロジェクトが平成27年度をもって概ね終了したことを受け、第116回評価専門調査会(平成28年4月5日)において、事後評価のための調査検討等を行う評価検討会を設置し、6月22日の評価専門調査会で事後評価結果(案)をとりまとめることとしていた。しかしながら、平成28年4月14日に発生した「平成28年(2016年)熊本地震」に伴い、文部科学省及び事業実施主体において、緊急対応を優先する必要性が出たことから、評価検討会の開催を延期していた。

今般、文部科学省及び事業実施主体において評価検討会への対応が可能となったことから、事後評価のための調査検討等を再開することとする。

2. 実施スケジュール(予定)

- | | |
|--------------------|---|
| 平成28年4月5日 | 第116回評価専門調査会 (済)
評価検討会設置の確認
文部科学省からの聴取 |
| 平成28年4月～8月 | 評価検討会(2回程度) (第1回は実施済)
文部科学省からの聴取に基づく調査検討
評価結果原案のとりまとめ |
| <u>平成28年10月21日</u> | <u>第119回評価専門調査会</u>
評価結果案のとりまとめ |
| (日程調整中) | 総合科学技術・イノベーション会議
評価結果案の審議・決定 |